

奥村司、馬場であやしいことにある

おくむらつかぎ

奥村司という武士が夕暮れに殿様の御屋敷から帰りました。その途中、御屋敷の外にある馬場の近くで、馬場の上の方ほるか雲の上に、大小二本の刀を腰にさした侍が提灯を手に持っていく姿が見えました。司はそのとき、子どもの使用人に提灯を持たせていっしょに帰っていましたが、その使用人も同じ侍の姿を見ました。この話は、奥村司が殿様の御前でお話申し上げたものです。

